

平成30年度 市ケ尾小学校「豊かな心の育成」推進プラン

1 中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

よりよい人間関係を築いていこうとする姿を目指し、児童の自己有用感を高め、自他共に大切にする心を育てる。

2 児童の実態

子どもたちは、素直で一生懸命に活動に取り組もうとする。しかし、集団ルールを守ろうとする意識はやや弱く、他者への寛容さや自分を客観視することへの力不足が感じられる。

3 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- 道徳の時間等の充実を図り、善悪の判断や人権を尊重する心を大切にしていく。
- だれもが安心して学校生活を送れるように、人権週間等の取り組みを充実させる。
- 相手を思いやる心や社会に役立つ行動をする姿勢を育成していく。



指針1) 「道徳の時間」の充実

- 全学級の道徳の授業を家庭・地域に年1回は公開する。
- 懇談会などで、道徳の授業について話題にして家庭との共通理解を図る。
- 児童の実態に合い、自分の生活や考え方をふりかえることができるような教材の開発と活用を行う。

指針2) 体験活動の充実

- 6年生が中心となって、みんなの広場（縦割り活動）や委員会活動、クラブ活動などの異学年交流を通して、お互いを思いやる気持ちや協力しようとする気持ちを育てる。

指針3) 確かな人権感覚・意識の育成

- 特別支援教育委員会を中心に情報を共有し、必要な支援体制を整える。
- 通級指導教室の職員や外部の機関と連携し、特別支援教育についての校内研修を進める。